

新潟市内学校園のみなさまへ

令和3年度「教職員視察ウィーク」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は美術館事業へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。ご挨拶申し上げます。

さて、今年度も「教職員視察ウィーク」を下記のとおり開催いたします。**市内学校園職員**を対象に、各展覧会ごとに定める一定期間を、**観覧無料の視察期間**とするものです。教育に携わるみなさまに、美術館や展覧会に対する理解を深める機会とするとともに、普段の鑑賞学習や、校外学習での美術館活用の参考にさせていただき、モニターアンケートにご協力いただくことで、美術館としても学校現場の声をお寄せいただきたく、積極的なご利用をお待ちしています。

なお、学校園団体引率に伴う**下見・引率**の場合は、時期を問わず**観覧料を免除する制度**もごさいます（所定の**減免申請書**をご提出ください）。そのほか利用に伴うご相談、ご要望等も随時受け付けておりますので、ご連絡いただけましたら幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

【視察ウィーク対象展および期間】

※それぞれの会期直前にも文書にてご案内いたします

① 4月25日（日）～5月2日（日）

「無言館 ―遺された絵画からのメッセージ―

&「コレクション展Ⅰ 顔、あつめました！」

☞全国の戦没画学生の絵画を集め、展示する長野県の美術館「無言館」から、望郷・家族・自我・恋・夢をテーマに約 130 点を紹介。当館所蔵品から、加藤一也、佐藤清三郎、金子孝信も特集します。



興梧武《編みものする婦人》無言館蔵

② 6月20日（日）～27日（日）

「25周年記念 るろうに剣心展」

&「コレクション展Ⅰ 顔、あつめました！」

☞1990年代に「週刊少年ジャンプ」で連載が始まった『るろうに剣心 - 明治剣客浪漫譚 -』。原作者の和月伸宏は新潟県長岡市出身、作品にも縁の深いこの地で連載当時の直筆原稿、カラー原画等 200 点以上の資料を展覧します。



©和月伸宏/集英社

③ 11月28日（日）～12月5日（日）

「生誕 110年 香月泰男展」

&「コレクション展Ⅱ 美術館で、山歩き」

☞太平洋戦争と抑留の体験を描いた「シベリア・シリーズ」で知られる画家・香月泰男 (1911-74) の新潟初の大規模回顧展。「シリーズ」全 57 点を含む油彩画、素描など約 150 点で創作の全容を紹介します。



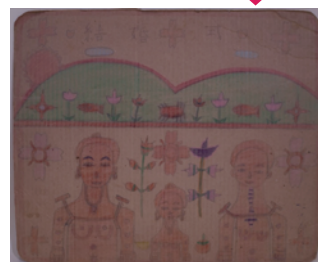
香月泰男《ハムとトマト》1953年 香月泰男美術館蔵

④ 2月27日（日）～3月6日（日）

「LOVE&LIFE コレクションより愛をこめて」

☞小幡正雄が描く素朴で幸せな愛の風景。木下晋の緻密な線描に宿る生命力。新潟市美術館と新潟市新津美術館の所蔵品より約 130 点を通して、様々な LOVE と LIFE を紹介します。

全館展示！



小幡正雄《結婚式》1996～2009年 新潟市美術館蔵